



下大和田谷津田だより



2004年10月号

第56回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

9月5日 曇り

モズの声がひびく初秋の谷津田を一巡したあと斜面林の中のキノコを観察しました。

今年耕作がされなかった田のあとには水田雑草がびっしり繁っていました。透きとおるような緑に黄色の花が映えた群落がとてもきれいで新鮮でした。ヒレタゴボウ?!と思ったのですが花弁が5枚、なかには6枚のもあります。ヒレタゴボウなら花弁は4枚の筈、一緒にあるチョウジタデも5弁あってとまどいました。

帰ってから調べたら「ウスゲチョウジタデ」のようです。チョウジタデは5弁のものもあるとのことでした。林のキノコは猛毒のドクツルタケやテングタケが目立ちました。キノコは自分自身が食用と確信を持てるもの以外は口にしないようにしましょう。

午後からは風で倒れた稲を一部刈っておだに掛けたり、草刈をしました。また、ひと穂あたりの籾数、1株あたりの穂の数、田んぼ一枚の株数を数えて収穫の予測をしました。これまででない豊作でした。

開花植物: ヨモギ、カントウヨメナ、ヒメジョオン、タカサブロウ、セイヨウタンポポ、ノゲシ、ヘクソカズラ、キツネノマゴ、アゼナ、ハッカ、セリ、チョウジタデ、ウスゲチョウジタデ?、コケオトギリ、コニシキソウ、ヤブガラシ、シロツメクサ、ヌスビトハギ、ノアズキ、クズ、ゲンノショウコ、カタバミ、タコノアシ、イヌタデ、カナムグラ、アキノエノコログサ、エノコログサ、キンエノコロ、オオエノコログサ、ムラサキエノコログサ、シマスズメノヒエ、ジュズダマ、コナギ、ツユクサ、オモダカ、ヘラオモダカ。

キノコ: ドクツルタケ、テングタケ、ほか数種。

昆虫: キアゲハ、ルリシジミ、ヤマトシジミ、イチモンジセセリ、クモヘリカメムシ、オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ノシメトンボ、コバネイナゴ。

野鳥ほか: モズ、ナガコガネグモ、アシナガグモ、ハナグモ。

(参加者: 大人10人+子ども2人、報告: 網代春男)

第39回谷津田プレラント・プロジェクト(YPP)

みんなでサクサク! 稲刈り

9月19日 晴れ



谷津田に集まったのは何と65人! 稲刈りとしては最高の参加人数です。アブラゼミが鳴く残暑の中、大人はもちろん、子どもたちも最初はこわごわ、慣れればサクサクといい音を立ててとどどど刈り進みます。今年は例年よりも5割増しくらいの広さにコシヒカリを植えたのですが、この人数のおかげで昼までに全部刈り終えることができました。倒れそうなので1週間前に刈った稲を午後、千歯こきで脱穀しました。千歯こきは子どもたちに人気で長い行列ができるほど。こいだ初が山になると収穫を実感しました。

きれいにオダがけされた田んぼの風景はとても気持ちがいいです。夕暮れ時、草むらからスズムシの声が聞こえてきました。

稲刈りの様子はちば・谷津田フォーラムのホームページ(アドレスは裏面)でご覧いただけます。

(参加者: 大人44人・小学生16人・乳幼児5人、報告: 高山邦明)

下大和田季節のたより

9月19日 緑米を植えた田んぼに今年根付いたトチカガミが白い可憐な花を咲かせていた。

9月26日 脱穀の予定だったが前日から雨となり中止。それでも小雨の中集まってくれた人たちで、黒米などを植えた「マイ田んぼ」の草取りをする。ヒエやセンダングサが稲株の間にたくさん生えていて大変な作業。足下のあちこちにかわいいイボクサの花が咲いていた。隣の小さな田んぼではスコップで掘って池づくりが進む。深く掘って水を張り、みんなでハスの種をまく。

コシヒカリの稲刈りが終わりました。新聞によると千葉県の米の作柄は107と豊作だそうです。下大和田でもそれを実感しました。今年はコシヒカリと同じくらいの広さに古代米を植えているので、まだ稲刈りがあります。作業の時はちば環境情報センターやちば・谷津田フォーラムのホームページでお知らせしますので、ご協力をよろしくお願いします。

高山邦明